

平成29年度 保育所の自己評価

さくらの郷みらい保育園

29年度は、28年度末で2名の保育士・看護師・栄養士の退職に伴い、新たに保育士を3名（うち新卒2名）、支援担当の保育者1名、栄養士2名を採用しました。また、年度中に調理師・調理員を補充しました。前年に単独の給食室を整備したこともあり、より安全安心な給食が提供できるよう、地元のパン屋さんに当園用のパンを考案していただいたり、青果・お米の納入業者さんを変更したりと、給食のさらなる充実を目指しました。

前年度より定員増をして多くの子どもたちが保育園生活を送ることになり、園内活動や戸外活動、異年齢交流の面での人数の多さから生じるメリットとデメリットも見えてきたことで、職員たちとも何度も話し合いを重ねて、何とか園庭を広げたいという結論になりました。そして、地続きの大家さんの全面的なご協力を得られ、12月に斜面も運動場もある園庭を整備することができたことで、朝に夕に園庭で過ごす時間が増え、また、室内遊びと戸外遊びを子どもが自由に選べる環境も整えることができました。このことで一気に保育の内容が充実し、子どもの選択肢を増やすことができたことは、子ども・保護者・職員にとって、大変画期的なことになりました。

前年度から園内も改修工事で拡張しましたが、2年目の今年度は、スペースの使い方や保育の進め方をより工夫し、乳児の個別対応や小集団の保育が充実しました。また、施設全体を使った夏まつりなどの行事もさらにアイデアを出し合い、子ども・保護者・職員全員が楽しめました。

園で初めて受け入れた、医療的ケアの必要なお子さんも、今年度で無事に卒園し、元気に就学をしました。このお子さんの保育を通して、職員一同がたくさん経験と学びをさせていただいて、園にとってもこの経験は大きな財産になりました。29年度も年度途中から新たに支援が必要なお子さんを受け入れ、周りの子どもたちも職員も共に成長していきたいと思えます。

29年度は、特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センターによる、第三者評価を受審し、職員全体で取り組みました。この取り組みによって、職員は一人ひとりの保育を見つめる機会になったと同時に、当園の強みと課題が明らかになり、来年度からの園運営に活かしていきたいと思えます。

《保育所自己評価表による、評価結果》

※保育士全員による横浜市公立保育所の自己評価表での評価結果

※A：おおむね達成できている

B：具体的に実施しているが成果が出ていないか、一部実施できていない

C：具体的に実施できていないか、一部しか実施していない

1.保育理念

I-1 子どもの最善の利益の考慮

① 子どもの人権尊重 A：89% B及びC：11%

② 保育方針・保育目標 A：96% B及びC：4%

II-1 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

① 健康安全で心地よい生活 A：95% B及びC：5%

② 子どもの主体的な生活 A：76% B及びC：24%

③ 人との関わりを育む環境 A：62% B及びC：38%

2.子どもの発達援助

II-2 生活と発達の連続性

① 子ども観・発達観の理解と共有

発達過程に応じた保育 A：78% B及びC：22%

② 個人差への配慮

生活の連続性 A：97% B及びC：3%

II-3 養護と教育の一体的展開

① 保育における養護と教育の一体化 A：95% B及びC：5%

② 配慮を必要とする子どもの保育環境

A：97% B及びC：3%

II-4 環境を通して行う保育

① 環境を通して行う保育の重要性の共通理解

A：93% B及びC：7%

3.保護者支援

III-1 家庭との緊密な関係

① 子どもの成長の喜びを共有 A：94% B及びC：6%

② 子育てに関する相談援助 A：92% B及びC：8%

③ 虐待等の個別支援 A：90% B及びC：10%

Ⅲ-2 地域における子育て支援

- | | | |
|-------------|---------|--------------|
| ① 保育所の機能の開放 | A : 73% | B 及び C : 27% |
| ② 関係機関との連携 | A : 72% | B 及び C : 28% |
| ③ 情報提供 | A : 79% | B 及び C : 21% |

4. 保育を支える組織的基盤

Ⅳ-1 健康及び安全の実施体制

- | | | |
|--------------------|----------|--------------|
| ① 快適で安全な環境整備 | A : 99% | B 及び C : 1% |
| ② 配慮を要する子どもの個別配慮 | A : 100% | |
| ③ 食育への取り組み | A : 90% | B 及び C : 10% |
| ④ 施設内外の安全衛生管理体制 | A : 91% | B 及び C : 9% |
| ⑤ 家庭・地域社会・関係機関との連携 | A : 91% | B 及び C : 9% |

Ⅳ-2 職員の資質向上

- | | | |
|-----------------|---------|--------------|
| ① 保育指針に基づいた保育計画 | A : 97% | B 及び C : 3% |
| ② 保育士の自己評価 | A : 85% | B 及び C : 15% |
| ③ 保育所の自己評価 | A : 98% | B 及び C : 2% |
| ④ 研修体制が整備 | A : 70% | B 及び C : 30% |
| ⑤ 計画的な人材育成 | A : 48% | B 及び C : 58% |

Ⅳ-3 運営・管理、社会的責任

- | | | |
|-----------------|---------|-------------|
| ① 関連法令を遵守している | A : 95% | B 及び C : 5% |
| ② 苦情解決制度が機能している | A : 98% | B 及び C : 2% |
| ③ 個人情報取り扱い | A : 96% | B 及び C : 4% |
| ④ 施設長の役割と責任 | A : 93% | B 及び C : 7% |

平成 30 年 6 月